



HIROSAKI SOMA SUPPORT CREATOR

「関わる」が

クリエイティブになる。

地域おこし協力隊 とは

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、

地域外の人材を積極的に受け入れ、

地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、

意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

応募前にぜひ
ご参加ください！

お試し協力隊
事前説明会
オンライン
2026 THU.
2/26
18:30~

お試し
協力隊
2026 FRI. SUN.
5/8~10

地域おこし協力隊
応募締切
2026 mon.
5/25

CHALLENGE

スキルより、実績より、やってみたいの好奇心。

あおもりけんひろさきしそうちく

青森県弘前市相馬地区では、

地域の資源を活かして、誰かの挑戦を支える仲間を **2** 名 募集します

りんご、炭俵、紙漉き。相馬には豊かな資源と、「これを活かしたい」と願う地域の人たちがいます。
けれど、人手不足や孤独感から、あと一歩が踏み出せない…… そんな誰かの「やってみたい」を支え、
カタチにし、地域の伝統や文化を未来へつなぐ。たくさんの人と関わることがクリエイティブになる。
特別なスキル、実績はいりません。あなたの好奇心で、相馬の「やってみたい」を動かしてみませんか？
任期は最長3年、家賃補助や進路サポートも充実しています。
この場所での経験を、あなたの新しいキャリアに。

応募は
こちらから



【問い合わせ】

〒036-8551

青森県弘前市大字上白銀町1-1

弘前市企画部企画課 人口減少対策担当

TEL: 0172-40-7121 (直通)

E-Mail: kikaku@city.hirosaki.lg.jp

弘前市相馬地区とは

弘前市西部に位置する相馬地区は、豊かな自然と歴史ある祭りが息づく場所。

四季折々の祭りが彩り、りんごを中心とした農業が盛んです。

ここでお任せしたいのは、誰かの「やってみたい」に寄り添い、共にカタチにする活動。

例えば、特産品を使った新商品開発や、伝統行事の継承、SNSや広報誌での発信、事務局運営や首都圏でのPRなど。

大切なのは、地域の人とコミュニケーションをとりながら、活動や行事を通して幅広い世代との交流を楽しむ心。

自ら課題を見つけ、目標を持って取り組むことが、相馬の未来と自分自身の新しいキャリアをつくる一歩になります。



相馬地区を知るところからスタート



農産物を活用した加工品の開発

相馬地区地域おこし協力隊2期生



紙漉き文化を残す取り組み

沢田ろうそくまつり



ねぶたなど伝統行事に準備から参加



相馬の資源をSNSやHPなどで情報発信



コミュニティ活動も楽しくサポート



お菓子づくりが好き

山崎 奈津美さん

(東京都出身・相馬地区在住)

食品の加工やお菓子づくりが好きなのですが「これはどうすればいいのかな」と悩む時がよくあります。そんな時、一緒に考えてくれる協力隊がいると一人で考えるより心強いし、いい製品ができそうですね。



りんごが美味しすぎて

穂坂 修基さん

(神奈川県出身・相馬地区地域おこし協力隊4期生
R8.3.31で退任)

りんごが美味しすぎて相馬に来ました。収穫しても活用されない果実や野菜がたくさんあり加工して保存できるように工夫しています。去年は、ブルーンを10箱もらったので自分でドライ乾燥して美味しく食べました。なかなか食べきれないのでうまく販売できるといいのですが。

メッセージ

退任後は起業

佐野りささん

(静岡県出身・

相馬地区地域おこし協力隊3期生)



協力隊で着任してすぐに、退任後は起業すると決めていました。

協力隊活動は応援協議会、相馬地区の方々の親切で温かいサポートがあったので未経験分野でも楽しく続けることができました。

協力:下田 翼 (相馬地区地域おこし協力隊1期生)

メイン写真:米山 竜一(相馬地区地域おこし協力隊1期生)